



小林 市子 議員

町長として、これまでの実績と評価は

**公約を進め
成果は出ている**

質問・・・開発公社の理事長をいつまで続ける考えか。町長職と理事長職の兼務は避けるべきでは。

町長・・・過去の事例でみると前町長も兼ねていた。一時兼務しない時期もあったが、三井町長以降パノラマの理事長を町長が兼務することは通例になっており、制度上問題はない。

パノラマを再生することが、富士見町の再生に大きくつながると考えている。民間感覚で見ると、改革すべきことが多々あり、成果は出ている。

まだやり残していることがあり、改善途上にあるので、理事長は今

後も続ける。

質問・・・観光事業とまちづくり事業のバランスをとり、住みよい町づくりを力を入れるなら、富士見町に住み続けるべきでは。

町長・・・外から見た富士見と中から見た富士見を兼ね合わせて、町政を運営していく。富士見町は激動する社会情勢の中で、民間感覚を持つて変革することが多々ある。これから町はもっと良くなると思う。

町長職で一番エネルギーを費やしたことは、町民との交わりだった。この方向でやっていくことが、町にとってベストだと考えている。

質問・・・富士見町に住み続ける意思はあるか。

町長・・・住みたいと思う。

私は富士見町に住んでいなかっただけで、その点が強みでもあった。外から見た富士見を民間感覚で考え公約し、それに従っていくつかの政策を決めてきた。

私は、アイデアは出すけれども、トップダウンではしていない。

□その他の質問

*富士見財産区との土地の交換について



小池 博之 議員

小中学校の不登校・いじめの現状と認識は

不登校は小・中学校とも大幅に減少した

質問・・・町内の小中学校における不登校、いじめの現状は。

教育長・・・4小学校で長期不登校の児童は2人、富士見中学校は4人に減少した。5年前20人を越える不登校生徒がいたことから、児童生徒本人や保護者を丁寧に支援してきた成果。学校に落ち着いた環境が生まれてきた。いじめによる不登校は1人もいない。

質問・・・学校裏サイトやプロフに関する教委の認識は。

教育長・・・ネットによるいじめは確認されていない。携帯電話、インターネットは、最終的には家庭の判断に頼らざるを得ない。保

護者の意識を高めるため、啓発活動に努めたい。

□下水道事業について

質問・・・町内の公共下水道、農業集落排水の接続率が低い理由は。

町長・・・接続率は公共下水道が92・5%、集落排水が85・5%と低迷している。接続のための初期投資資金、使用料金などから接続を断念した人もいる。今後20年間に120億円の返済があるが、上下水道料金は現状を維持していきたい。

□地域活性化施設事業について

質問・・・町内の地域活性化施設は苦境にあえいでいる。経営状況と今後の展望は。

町長・・・昨年度はおつこと亭が224万円の黒字、信州蔦木宿は7万円の赤字、楽酪ミルク工房は143万の赤字。経営主体は地元協議会であり、町は側面から協力する。

産業課長・・・三協議会と密接に連携し経営改善に取り組んでおり、今年度はおつこと亭、蔦木宿とも改善に向かっている。

□その他の質問

*町長公約に対する自己評価と行政改革の課題について